



陵雲だより

～おもしろい学校づくりで考えて行動する子供の育成～

旭川市立陵雲小学校



運動会で「きらきらぐんぐん」力を出し合う子供

校長 甲斐 信太郎

10月12日(月)、13日(火)、両日ともに時折日差しの差す中、陵雲小学校の分散運動会を開催することができ、ほっといたしました。多数の保護者や地域の皆様の御来校と子供たちへの大きな拍手による御声援を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

今年度はコロナ禍のため、開催時期を10月に変更し、分散運動会として例年とは内容を縮小し実施いたしました。また、3密を回避するため、参観に来られる保護者、地域の皆様には御観覧お願い(マスク、検温、ソーシャルディスタンス、時間差)等の参観者の制約があり、今までとは違う運動会の開催となりました。

保護者・地域の皆様に支えられていると感じたのは、声援ではなく拍手での応援をいただいた点です。コロナの状況下、子供たちにとり、よい手本として映っていました。その中で子供たちは意欲的に取り組み、全力を出して競い合うすがすがしい運動会となりました。

徒競走等で一生懸命に走る様子、実に楽しそうな表現運動(「よさこい」「南中ソーラン」)等の子供たちの真剣な取組に心を打たれました。

また、子供たちの中で応援し合う気持ちや互いに讃え合う態度を随所に感じる運動会となりました。運動会の中で子供たちが懸命に力を出し合う様子、次の子にバトンを真剣につなごうとする姿に、子供たちの素直さや心のつながりの豊かさを感じました。まさに、集団行動の中で育つ子供の豊かな成長の一面でした。

子供の真剣な心やチームワークを願って取り組んだ運動会が、子供たちの自信に結び付く教育の場となったことを、地域や家庭の皆様とともに喜びたいと思います。御協力や御支援に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



大成ロテック様による奉仕作業

毎年、大成ロテック様には、社会貢献の一環として、校地内の環境整備をしていただいています。今年度は、グラウンドの水がたまりやすい場所に土を入れたり、転圧したりしていただきました。おかげで、グラウンドが使いやすくなり、子供たちが安全に運動したり遊んだりすることができるようになりました。



後日、学校から感謝状を贈呈し、感謝の意を伝えたところ、「子供たちが元気に遊んでいる様子を見ることができて嬉しい。」との言葉をいただきました。

地域に支えられて本校の教育が成り立っていることを実感しました。



公開研修会

本校では、「考えて判断し行動できる子供の育成」を目指して、日々、職員一同で授業改善に取り組んでいます。

先日、上川教育局及び旭川市教育委員会の指導主事の先生や近隣の小・中学校の先生をお招きして、授業公開した8学級の子供たちの学びの様子を基に研修しました。

子供たちは、どの子も学習のめあてに向かって生き生きと取り組んでいました。問いに対して、粘り強く自分の考えを書いたり、相手に伝えたりしていました。また、練習問題に取り組む「きらぐんタイム」では、学んだことを生かして解答することができていました。

一方で、参加された先生たちから、子供たちの力をより伸ばすためのアイデアをいただきました。今後とも、いただいたアイデアを生かしつつ、子供たちのために、職員一同、授業改善を推進していきます。



りょううんの森

本校では、全学年の算数の問題プリントを用意し、「りょううんの森」と名付けて取り組んでいます。これは、必ず取り組んでくるものではなく、個々の学習状況に応じて主体的に持ち帰り、家庭で取り組んでくるものです。現在、130名程度の子供たちが取り組んでいて、中には、100枚達成した子もいました。より多くの子が学ぶ意欲と計算等の技能を身に付けることを期待しています。

